

# 議会報

# 飯南

いinan

- 02 3月議会報告
- 03 可決された主な議案  
一般会計予算
- 04 一般質問
- 10 討論
- 11 採決の結果
- 12 常任委員会報告 議会活動報告  
議会全員協議会の議題
- 14 明日を拓く

第57号  
平成31年4月19日





# 平成31年 3月議会終わる

来島拠点施設は、予定地の造成工事が着々と進められている。

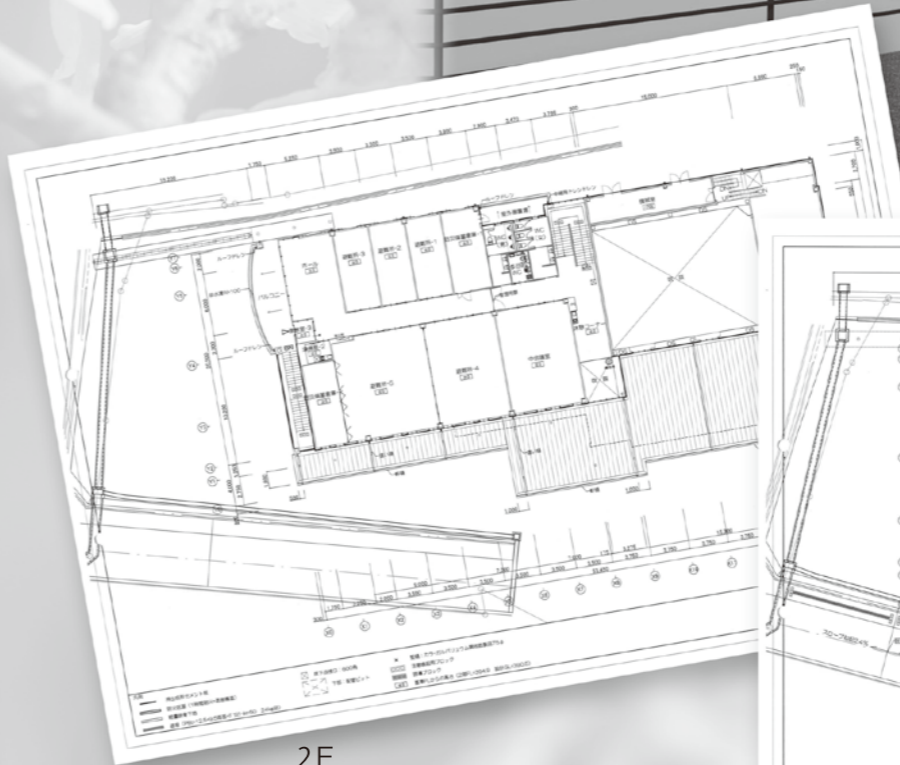
平成31年度中には建物が完成する予定で、構造は鉄筋造一部2階建てで1階が1232・73m、2階が643・13mである。1階は大ホール、事務室、多目的ルーム、図書館、調理室、和室からなり、図書館の蔵書は2万冊を予定している。2階は7部屋に区切られており、平時には学習塾である学習支援館として、災害時には避難施設として利用する。総工費は7億8800万円余。本町の文教地区の拠点施設として有効活用を期待する。

平成30年度は、赤来地区のCATV光ケーブル化がおこなわれた。これにより電子メールのダウンロード速度が速くなり、動画もストレスなく見ることができるようになった。テレビの画質が良くなったという声も聞く。

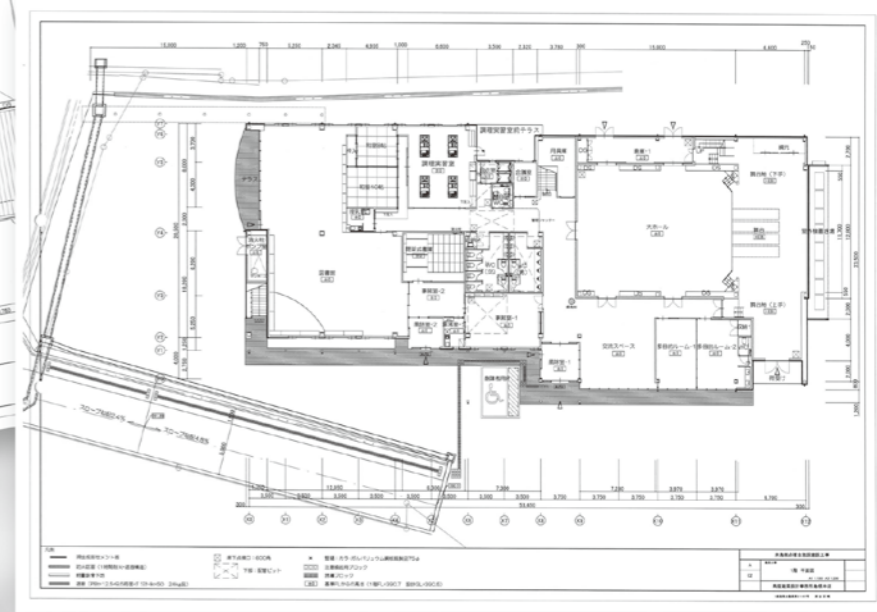
平成31年度は頓原地区が光ケーブル化される。総工費は8億9300万円余。これにより通信基盤がより強化される。有効利用され、住民の利便性向上が図られることを期待する。



来島複合拠点施設完成予想図



2F



1F

## 可決された主な議案

(3月臨時会において)

■同意関係  
監査委員の選任について

■条例関係  
飯南町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定についてなど12件

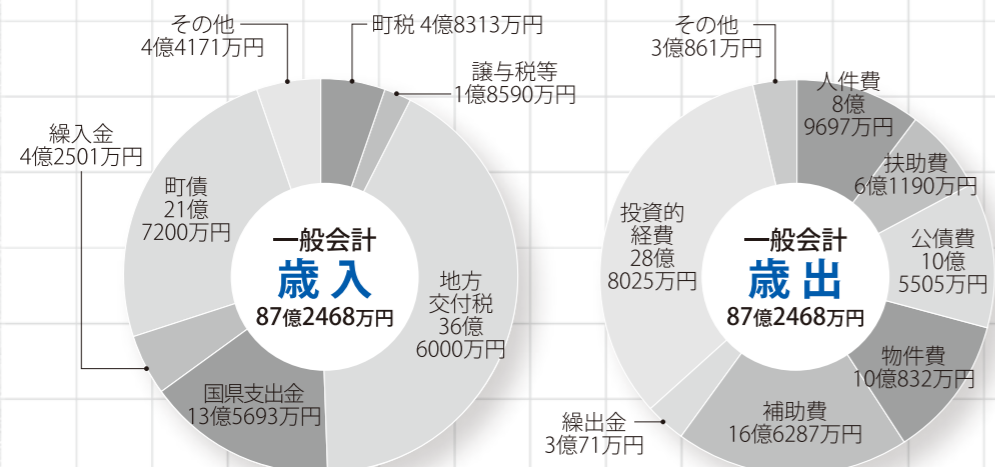
■補正予算  
平成30年度飯南町一般会計補正予算(第9号)など7件

■予算  
平成31年度飯南町一般会計予算など7件

■諸議案  
公の施設(頓原ラムネ銀泉)の指定管理者の指定など10件  
雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約について  
定住住宅使用料及び定住住宅使用料に関する権利(債権)の放棄など3件

■報告  
議会の委任による専決処分報告

## 【平成31年度 一般会計予算】



平成31年度予算総額: 120億733万円

各会計	予算額
一般会計	87億2468万円
特別会計	
国民健康保険事業	6億5567万円
後期高齢者医療事業	1億6903万円
介護保険サービス事業	3508万円
簡易水道事業	6億1399万円
下水道事業	5億3884万円
病院事業	12億7004万円



# 一般質問

3月定例会



内藤 眞一 議員

## Q 実効性ある奨学金制度を

昨年12月7日の新聞によると、鳥取県の奨学金返済助成制度は、対象業種に就職した場合、奨学金返済額の一部を8年間助成するとある。

この制度を活用した保育士の言葉として「給料の高い県外に出たまま、帰りたくても帰れない人がいる。制度はありがたい」とある。本町でも検討すべきではないか。

2月11日には、鳥根県国家資格取得の奨学金返還減免制度が新聞に掲載された。国家資格を取った学生が、県内の中山間地域・離島の企業に就職すれば、奨学金の返還を免除するというもの。

これを国家資格と限定せず、どの資格の取得者であろうと免除対象とすると、更に本町に帰りやすく住みやすくなるのではないか。

介護士には、奨学金に相当する助成金が支給されている。支度金制度も十分に周知されたい。



飯南高校卒業式

## A 効果的支援策を検討

町長 山崎 英樹

本町の奨学金制度は、子育て世代（保護者）の経済的負担軽減が目的。定住対策という観点では、給付型奨学金制度の創設を考えている。

平成31年度に策定する「地方創生総合戦略」に盛り込めるよう検討する。

支度金等の周知は、人材確保

保支援センターや各担当課で努めているほか、毎年度自治区長会で制度を紹介し、回覧文書で各世帯にも周知を図っている。

人口減少対策は、大変重要である。効果的な支援策を引き続き検討し、定住対策を進めたい。

## Q 長期連休の行政対応は

政府は、4月27日からの10連休対応で、保育所の一時預かり運営費を、国・県・町で補助加算するとしている。その他は具体性がなく、市町村で検討せよというもの。本町では、契約外で特別な対応があれば、補てんが必要と考える。

また、バス運行やゴミ収集などは、住民生活の上でも考慮する必要がある。

## A 住民生活配慮し対応

町長 山崎 英樹

町が委託等している業務には、10連休となることで影響を及ぼす事案はなく、特別な補てんの必要はない。

子育て世帯からは、保育や医療など、家庭にかかる負担を心配する声もある。住民生活への影響に十分な配慮をし、しっかりと対応していく。

10連休に伴う諸事を整理しており、しかるべき方法で町民の皆さんに周知する。

# 一般質問

3月定例会



早樋 徹雄 議員

## Q iまるシェ存廃の判断を

三次市に飯南町交流物産館「iまるシェ」が開館して6年目となる。売り上げは、年6千万円の目標に対し、平成30年度は2千3百万円程度で稼働している。

一方、指定管理料や電気料など、施設維持にかかる経費は年々増加しており、継続すれば町の負担額は一層大きくなる。店舗内の商品が少なく、



iまるシェ店内

来店者も減少するという悪循環に至り、飯南町のマイナスイメージになっている。消費者や生産者からも厳しい目にさらされている現状の中、施設運営を大変懸念している。

本施設の現状維持は困難であると感ずる。撤退も含め、早急な判断が必要ではないか。町長の考えを問う。

## A 31年度の動きみて判断

町長 山崎 英樹

本件については、町民の皆様に変なご心配かけており、申し訳なく思っている。

iまるシェが設置されて5年経過した。厳しい運営が続く中で、平成29年6月定例会

一般質問で「撤退も含め、抜本的対策が急がれる」との指摘があり、深く受け止めている。飯南パートナーズと今一度検討し、改善に努める余地はあると思う。財政運営の面から、今の時期廃止することは得策ではないとの考えを示させていただいた。

その後、関係者の皆さんと相談しながら運営し、平成29年12月から、情報発信力を高め店舗の集客を促し飯南町へ



iまるシェの外観

の誘客につながるよう、飯南町交流物産館コーディネーターを配置し、改善に努めている。

昨年は、しめ縄・営業看板・健康食品コーナーを設置し、新聞折込によるチラシ配布等の誘客に努めた。効果は8月頃から現れ、毎月対前年比110%を超えてきた。

平成31年度は、更に努力を続け、飲食部門のスペース拡大、野菜栽培農家との連携強化、店舗スタッフの育成等で売り上げ拡大を図っていく。関係者が一丸となって取り組み、努力することが求められている。平成31年度の努力をみなから適切な判断をする。



# 一般質問

3月定例会



高橋 英次 議員

## Q 平成時代の総括を問う

町長は、平成13年1月に赤来町長に就任、平成17年1月飯南町初代町長に就任以来、平成21年・25年・29年と再選され、現在4期目半ばである。その間、種々の難問に取り組み、財政の立て直し・医療福祉の充実・定住促進の施策などに成果が出ている。

町長は、平成13年1月に赤来町長に就任、平成17年1月飯南町初代町長に就任以来、平成21年・25年・29年と再選され、現在4期目半ばである。その間、種々の難問に取り組み、財政の立て直し・医療福祉の充実・定住促進の施策などに成果が出ている。



今シーズン導入した除雪車

**A 激動の時代と地方の価値**  
町長山崎英樹  
一、激動の時代であった  
小さくてもキラリと光る町を創るとの熱い思いで飯南町がスタートし、人材が2倍・町の能力が2倍となり、各分野で合併効果が出ている。  
二、地方の価値、飯南町の価値が見直された時代であった  
農村志向が高まり、田園回帰の時代を迎える今、自分が飯南町を担うという明確な意思を持つ若者が増加し、U・Iターン者も迎えることが出来るようになった。

今後は、合併特例措置も終わり、二層の行政改革が求められる。全業種での人材不足問題もある。また、更なる高校の魅力化、定住への取り組み、志々地区の活性化の促進などの課題がある。  
平成の時代に皆で築いた飯南町を、更に大きく育てていかなくなくてはならないと思う。



雄大な志津見ダム

・財政については、町民に痛みを伴う協力を得、一定水準まで回復できた。  
・医療においては、病院運営に当たり、歴代の院長はじめ関係者のおかげで、町民の信頼を得る病院に立て直すことができた。  
・福祉施設では、事業者の熱意と努力で、密度の高い運営が行われている。  
・飯南高校の存続は重要課題である。町長部局に高校担当を新設し、高校の魅力化に取り組んだ。

# 一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q 国保料の軽減を

支払い能力を超える国保料が全国で問題になっている。国保制度の抜本的な改革は、もはや避けて通れないと思う。国保料が著しく高くなる要因として、国保にしかない「均等割」「世帯割」がある。2点について提案し、答弁を求める。

国保の制度として運営されており、町村会で負担の軽減を求めている(廃止ではない)。町独自の負担は考えていない。  
国への財政支援の要望は、全国町村会・島根県町村会としても行っている。国を動かすとなると、こうした大きなところの力を発揮しなければならぬ。

## A 独自行動はしない

町長 山崎英樹



しまねの国保

## Q 脱原発・広域避難

対応



広域避難計画で受入れる避難場所

県の広域避難計画では、松江市大野町から1390人の住民を受け入れることとなっている。避難場所はどこを想定し、1人あたりの占有面積はいくらか。十分なトイレの数、温かい食事、簡易ベッド等が確保できるのか。  
原発があるが故に苦勞を強いられることになる。安全で住みよい飯南町をつくらなければならない。中国電力に必要ではないか。中国電力に対し、島根原発2号機の再稼働中止、3号機の運転開

**A 県からの支援で**  
町長 山崎英樹  
2月に、県から避難運営マニュアルのひな形が示され、それに合わせて計画を作成中である。避難場所は、赤名農村環境改善センター・赤名小学校など、13箇所を対象にしている。1人あたり概ね2㎡占有できると考えている。  
避難物資は、事故発生から2日の間に手配することになるが、本町の備蓄はわずかなので、県からの支援物資で対応することになると想定している。  
原発は安全確保が最も重要。まずは、県を通じて中国電力への働きかけ・申し出をすることを基本にしている。町村会として、運転再開は電力需要のみの判断でなく、安全面の検証を徹底し、慎重に判断するよう申し入れている。今後も町村会として行動する。



# 一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

## Q 国道54号の展望は

大雪特別警報や、大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪があるとき、チェーン規制する箇所に赤名峠が指定され、多くの町民から不安の声が上がった。悪い意味で全国に名前が知れ渡り、定住や県外からの入学者希望者に悪影響が出るのではないかと心配している。

- ① 国交省が示した、大雪時の道路交通確保対策に対する対応状況は。
- ② 検問、待機及びチェーン着脱場の予定地は道の駅赤来高原周辺だが、どのような計画か。
- ③ 除雪車両を通すため、退避する車両待機スペースと立往生車両を牽引する車両の配置は。
- ④ 旧ドライブイン赤名54跡地で、チェックや待機が可能だが、候補地に挙がらなかったのか。地権者に寄付の意向があると聞か。

⑤ 交通量は減ったが、尾道松江線の補完道として重要であり、本町の大動脈だ。この機会に、国に対して十分な予算措置を求め、沿線の保全に万全を期すべきだ。2つのトンネルは付け替えしかない。声を挙げ続けるべき。



老朽化が進む赤名トンネル

## A 引続き維持・整備求める

町長 山崎英樹

日ごろより、国道54号の管理・整備が疎かになってはならないと、国交省へ伝えている。

- ① 昨年11月末、国道54号にチェーン規制が適応されるとの情報を得た。国交省に説明を求めたが、規制区間は広範囲で、対象は全車両。規制は生活への影響が大きいため、区間縮小の申し入れを行った。

上赤名地区で国交省との意見交換会を行い、2.5キロ区間を規制対象とすることに決まった。

- ② 道の駅赤来高原、ゆめランド布野が、検問、待機及びチェーン着脱場として指定された。赤来高原は狭いので、役場の駐車場も利用する状況はある。
- ③ 要請により、町の除雪車で除雪や立往生車両除去に協力する。車両待機スペースは赤名と布野の道の駅で、牽引車両は晴雲トンネル付近、布野の登坂車線付近に配置されている。
- ④ ドライブイン赤名54跡地は、国交省と協議したが利用の考えはないとのこと。
- ⑤ 国道54号の役割は変わりない。災害等で通行止めが生じたときは、尾道松江線の補完道としての機能を發揮している。引き続き、道路維持・整備・安全確保を求める。

また、トンネルの付け替えは難しく、現実路線として今の形での街道を要望している。今後も総合的な調整を図って行きたい。

# 一般質問

3月定例会



景山 登美男 議員

## Q 仕事と子育ての両立を

昨年の3月議会で、小学校の放課後・夏休み等の長期休業期間に、昼間に保護者がいない家庭への支援のあり方を質問をした。

教育長は「さまざまな支援に取り組んでいるが、要望に十分に答えられていない。アンケートを実施しており、結果を踏まえ改善に努める」との回答があった。アンケートの結果と改善されたもの、今後改善を予定しているものは。

「住みたい田舎」ランキングで日本一に輝いたが、子育て支援の質・量の充実により、子育てをしながら仕事を続けることができる社会の実現を図り、名実ともに子育て世代が住みやすい町にすべきと思うが、町長の決意は。

## A 要望に応えたい

教育長 矢飼 斉

放課後の居場所づくり事業では、現在の場所が良いとの意見が多いものの、頓原地区では、学校と公民館が半々だった。長期休業中の児童クラブ事業は、4地区での開設の要望があった。

実施時間では延長の希望が多かったため、開始時間を午前8時15分から午前8時に変更したが、終了時間を午後6時までとすることは、人員の確保が困難であることから対応できていない。

## A 子育て世代が住みよい町に

町長 山崎英樹

「住みたい田舎」ランキング日本一は、定住支援制度や24時間対応の病院、保育料や医療費への助成、町全体で子どもを見守る仕組みなどが評価されたものである。今後さらに、飯南町のヒト、モノ、総力を挙げて子育て世代が住みよい町にしたい。

## Q 地域おこし協力隊の活用を

地域おこし協力隊は、地域おこし支援や、観光振興、農業への従事、住民の生活支援などにあたるとともに、その地域への定住・定着を図るとなっている。

本町では、平成22年4月の5名に始まり、現在の12名までのべ32名が地域の元気づくりに協力している。

また、活動期間を終了した20名の隊員のうち、町内に6名、他に4名が県内に定着している。

この制度に対してのこれまでの総括と今後の活用について問う。

## A さまざまな分野で活用を

町長 山崎英樹

地域おこし協力隊は、積極的な活動により地域や団体に活力を与え、担い手として十分に力を発揮している。引き続き、さまざまな分野で本制度を活用していきたい。



住みたい田舎ランキングで1位に輝く



# 討論

### 消費税法改正に伴う関係条例の整理

消費税を含む金額で定めた条例の消費税率を10%で計算し直し改正するもの

**反対討論** 伊藤 好晴議員

深刻な消費不況が続くなかで、消費税増税は町経済に壊滅的な打撃を与える。増税は中止すべき。

**賛成討論** 門眞一郎議員

消費税は国会で法制化されたもので、町議会で論ずる議題ではない。



### 飯南町観光・体験農園の設置および管理に関する条例の改正

赤名観光体験農園の入園料を増額改正するもの

**反対討論** 伊藤 好晴議員

料金改定は入園者の減少を招くため反対する。

**賛成討論** 門眞一郎議員

入園料は近隣施設と比べ安価であり、現状が赤字なので、価格改定は妥当だ。

### 平成30年度一般会計補正予算(第9号)

**反対討論** 伊藤 好晴議員

琴引スキー場外経常管理費を2160万円増額。シーズン入込み客が3万2千人に達せず、契約に従い指定管理料を増額する。入込み客に連動した指定管理料の算定は見直すべき。雪不足の中でのグレンデ維持、営業期間終了後の予約受入れなど、採算を度外視している。営業基準を再考すべき。

**賛成討論** 門眞一郎議員

付託委員会でも営業判断につ

いて言及しており、今後改善されるもの信じ、補正には賛成する。

**平成30年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)および平成31年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算**

**反対討論** 伊藤 好晴議員

後期高齢者医療保険制度は廃止し、老人保険制度に戻すべき。

**平成31年度飯南町一般会計予算**

**反対討論** 伊藤 好晴議員

消費税増税と社会保障の切捨ては、格差を拡大し町民生活を苦しめるものだ。以下の予算措置を求める。

① 民生費・衛生費の増額

② 消費税増税に反対。商工費を地場産業育成にシフト

③ 原発からの撤退決断

**賛成討論** 門眞一郎議員

消費税は国会で法制化されたもので、町議会で論ずる議題ではない。消費税の取扱いは適正

であり賛成する。



スキー場オープンでにぎわう様子

## 採決の結果

### [3月臨時会]

同意案件1件、議案41件のうち、反対等があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門眞一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	早稲徹雄	高橋英次	景山登美男	安部 丘
監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町森林環境譲与税基金条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町公営企業の設置等に関する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町観光・体験農園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住宅使用料及び定住住宅使用料に関する権利(債権)の放棄について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道料金に関する権利(債権)の放棄について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療収入に関する権利(債権)の放棄について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(願原ラムネ銀泉)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町谷笑楽校)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町ふるさと回帰館)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(下来島多目的集会施設)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町健康増進施設)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町地域食材提供施設)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(来島高齢者生活福祉センター)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(赤名ファミリーケアセンター)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(来島高齢者冬期宿泊センター)の指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町一般会計補正予算(第9号)	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町一般会計予算	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町簡易水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町下水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度飯南町病院事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### [陳情の採決結果]

琴麓地区基盤整備事業の事業採択について	廃案									
---------------------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### [第1回臨時会]

2月8日開催

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門眞一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	早稲徹雄	高橋英次	景山登美男	安部 丘
教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町ケーブルテレビネットワークFTTH化工事(第1期)請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対



### 教育経済常任委員会

委員長 内藤 眞一



長谷公民館の法面調査風景

#### 平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第9号)

繰越明許費土木費 14件 2億4990万円

翌年に繰り越さなければ完了できない現場がある。事務処理に時間を要し、工事に支障が発生しているため、意見をつけた。

※次年度に繰り越す事業費

#### 審査意見

平成30年度繰越明許費の内、土木費は14件、2億4990万円に上る。これには、事務処理の遅延に起因する事業が多々ある。

やむをえない事業はあるが、事務処理に万全を期し、計画した建設事業は速やかな事務執行に務め、安易に事業の繰越を行うことのないよう善処されたい。

#### 農業委員会委員報酬 148万円の増額

報酬は年額12万円で、少なすぎるのではないかとの意見があった。

農地利用最適化推進委員の成果実績に応じた交付金の増加により、平均報酬年額が13万円増加した。

#### 琴引スキー場外経常管理費 2160万円

##### 琴引スキー場の指定管理料

今シーズンの入り込み客が2万995人で、規定の3万2千人に達しなかった。無理に雪を作り赤字営業するよりは、休業することも必要であると意見した。

#### 平成31年度 飯南町一般会計予算

観光協会運営事業 3410万円

##### 観光協会運営補助金

このうち人件費は5人分で1980万円余。観光誘客、インバウンドなどに取り組んでいるが、町民の旅行斡旋などに丁寧な対応を求めた。

学習支援館運営事業 1634万円

##### 図書館臨時管理費 2311万円

31年度に新設される、来島複合施設内に図書館が整備される。

読書習慣が身につくような取り組みや、県立図書館からの借り入れによる、幅広い興味に応える取り組みを求めた。



蔵書2万冊が予定される

## 議会全員協議会の議題

平成31年2月8日(金)

- ①ケーブルテレビインターネット使用料の改定について
- ②中期財政計画について
- ③平成31年度予算要求状況について
- ④住宅新築資金等貸付助成事業の債権放棄について

平成31年3月25日(月)

- ①飯南町空家等対策計画について
- ②情報基盤整備事業について
- ③消費税率等に関する経過措置について
- ④林業魅力化プロジェクトについて
- ⑤暮らしの便利帳について
- ⑥来島拠点複合施設のレイアウト等について
- ⑦可燃ごみ処理に関する当面のスケジュールについて

### 総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻 行雄



造成中の来島複合拠点施設を調査

#### 平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第9号)

基金費 185万円

財政調整基金は、近年過大な残高が問題視されているため、減債基金など6基金に振り分ける。

#### 平成31年度 飯南町一般会計予算

定住促進住宅整備事業 7861万円

上赤名に1戸、頓原泉川団地に1戸整備する。周辺の地域住民とのつながりを考えて進めて欲しいとの意見があった。



上赤名定住促進住宅予定地

森林活用地方創生推進事業 1826万円

林業従事者の確保対策を求める意見があり、若手従業員養成のための教育から取り組むとの回答があった。

雲南市・飯南町事務組合臨時負担金 4490万円

出雲エネルギーセンターへの持ち込みが平成34年3月で終了するため、雲南エネルギーセンターの延命化を図り、いいしクリーンセンター分を処理するための改修費。

ふるさと応援寄附促進事業 5987万円

旧診療所解体費 2810万円

頓原複合施設臨時管理費 118万円

開閉が重いと指摘があった玄関ドアを、自動ドアへ改修するもの。当初の考えが甘かったのではないかとの意見があった。

## 議会活動報告[1月~3月]

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1</b> 4日 議会広報編集委員会:紙面校正作業<br/>9日 議会広報編集委員会:紙面校正作業<br/>議会運営委員会:議会基本条例<br/>13日 消防出初式<br/>19日 頓原広島会<br/>24日 議会運営委員会:議会基本条例<br/>28日 雲南地域議会議長連絡協議会研修会・意見交換会</p> <p><b>2</b> 4日 総務厚生常任委員会<br/>8日 議会運営委員会:臨時会の提出議案、日程外の協議臨時議会、議会全員協議会<br/>12日 総務厚生常任委員会<br/>13日 教育経済常任委員会全国過疎地域自立促進連盟理事会<br/>18日 議会運営委員会:議会基本条例<br/>20日 雲南広域連合議会2月定例会<br/>21日 島根県市町村議会議長会総会<br/>22日 竹島の日総会<br/>23日 議会運営委員会:議会基本条例総務厚生常任委員会<br/>28日 議会運営委員会:議会基本条例、3月定例会の提出議案、日程外の協議</p> | <p><b>3</b> 4日 3月定例議会:本会議、町長提出議案の説明<br/>5日 :本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託<br/>8日 :本会議、一般質問<br/>11日 :委員会審査<br/>12日 :委員会審査<br/>13日 :委員会審査<br/>14日 :委員会審査<br/>15日 :委員会審査<br/>18日 :委員会審査<br/>19日 :本会議(流会)<br/>22日 議会広報編集委員会:一般質問要約<br/>25日 3月臨時議会:本会議、町長提出議案の説明、委員会付託、委員長報告、質疑、討論、採決<br/>26日 雲南市飯南町事務組合議会3月定例会<br/>27日 議会運営委員会:議会基本条例<br/>28日 議会広報編集委員会:委員会報告等要約作業</p> |
|--|---|



# 金に成る農業を

新規就農指導員

難波 俊司さん(谷)

お米中心の農業から多角的農業へと転換する流れがあります  
が、野菜農家としてどうですか

20年間、無人市をやってきました。

その中で、この時期にここでしか  
作ることができない野菜を一生  
懸命やれば必ずもうかることに  
気づいた。広島や四国で野菜が  
収穫できない時期に、ここで作  
れる野菜はかなりある。

冬季、ストーブで加温し、無  
理やり作物を作るとは、経費  
ばかり要し、利益が出にくい。

冬は雪の降らない大和町や三  
次市に、土地を10アールでも20  
アールでも借りて、作れるもの  
をつくったほうがよほどいいと  
思う。



和やかに語る難波指導員

有機無農薬栽培は、高度な技  
術と経験が必要だ。また、量の  
確保は大切だ。

エコ栽培なら失敗が少なく、  
自立して農業を続けていけるの  
で勧めたい。

## 売り方の秘訣は

新規就農者は、生産技術が未  
熟で販売経験が浅い。出口とし  
て、三次市にある「まるシエが  
背水の陣で何とか立て直そうと  
しているの、利用できないか考  
えている。直売所は自分の名前  
を売ることが大切だ。

## 収入確保の視点は

農家には、今の農業には野菜  
の作り方で月に5万円でも10万  
円でも金になるといっておもしろ

みがある。農地をいかに活かす  
かは、目標金額を設定して作付  
けをすることだと思う。発想を  
少し変えれば、年間100万円  
くらいの収入は難しいことでは  
ない。

## これからの地域農業は

ここは中国山地の真つ只中  
だ。清浄な環境の中で育くまれ  
た野菜は、安全で美味いという  
イメージを定着させなければい  
けない。

昼夜の温度差が大きく、日照  
時間が長い特性を生かし、野菜  
本来の美味しさを待つ野菜の産  
地として有望だと考えている。

これからは、月々現金収入が  
確保できる農業が求められてい  
くに違いない。



丹精込めた苗作り

## 今月の 表紙写真



「金になる農業を」と言われる難波俊司さんは、「買い手が欲しいモノを届けるからお金になる」と一言。「感動するものを届ける」ことは、どこにでもあるようなモノは作らないことでもあり、農業は商業でもあったのです。難波さんは新規就農者の育成指導に携わりながら「この町で、本気で農業に取り組む人と基盤を育てていきたい」と熱く語られました。そんな難波さんの周りには、本気で取り組む仲間も大勢おられるようです。

## 編集後記

3月定例会は、インフルエンザ  
が蔓延し、8名の議員が感染した  
ため流会になり、全議案が廃案に  
なりました。3月25日には、全議員  
が出席して臨時議会を開催し、改  
めて提出された議案をすべて可決  
しました。

町民の皆さんには、大変ご迷惑、  
ご心配をおかけしました。私自身、  
健康の自己管理、危機管理の徹底  
を再認識したところです。

危機管理と言えば、この冬は暖  
冬で雪も少なく、住民の方々には  
安心して過ごせた冬だったのでは  
ないでしょうか。

しかし、降るべき時期に降らない  
という事は、異常気象と言えます。  
これから梅雨や台風の時季を迎え  
ますが、異常気象により、大雨や大  
きな台風が到来する可能性もあり  
ます。

日頃から、テレビ・ラジオなどで  
気象情報を把握し、自分の身を守  
る行動をして頂きたいと思いま  
す。

議会広報編集委員会  
委員長 高橋 英次